

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 萬寿園	定員	100名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 神戸自興会	開設	昭和55年4月7日
所在地	〒651-2304 神戸市西区神出町小東野58-92	TEL	078-965-2218
交通アクセス	JR明石駅より神姫バスで「三木」または「社」行きに乗車し、約40分、「小東野」下車。または地下鉄西神中央駅より神姫バスで「三木営業所」行きに乗車し約25分、「小東野」下車。徒歩7分。国道2号線または第二神明「玉津インター」より175号線を三木・小野方面へ北上、約20分。	URL	http://www.kobe-manjuen.or.jp/

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業					
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム 100床) 短期入所生活介護(従来型個室4床・空床ベッド対応あり) 居宅介護支援事業所 軽費老人ホームケアハウス 特定入居者生活介護(50床) 通所介護(45名)					
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)					
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.14 名				
●介護・看護職員平均勤続年数	5.9 年				
●介護・看護職員平均年齢	44 歳				
●人材確保と育成の方針					
<p>新人職員への指導・教育については、各部署からの入社時のオリエンテーションを実施、また介護職員についてはリーダーを中心に介護の実践・業務指導を行っております。また、外部研修に加え、介護福祉施設で働く職員としての資質の向上を目指し、コミュニケーション技術、介護技術、認知症ケア等 テーマ別に年間12回 外部講師を招き、平成24年度より実施、積極的参加と研修報告により職場全体の知識と技術の向上、共有化を図ります。また、組織人としての自覚や職務に対する取り組み姿勢及び目標達成などの評価による人事考課制度を通じ人材の育成を図ります。</p>					
3 施設の方針・理念					
<p>●基本方針 いつも笑顔で、明るく優しい言葉がけで接します。 萬寿園での介護は、言葉がけと声かけで始まり、言葉がけと笑顔で終わります。 廊下ですれ違う時も、一言、笑顔で言葉がけを大切にします。 親切、丁寧な介護を常に心がけて日々実践します。 萬寿園での介護は、入居者の方に安心してもらえる介護に努めます。 優しく丁寧に、目配り気配り心配りを大切にします。 プロとしての自覚を持って、その人がその人らしく生活してもらえるように、残存能力を生かすケアを目指します。 萬寿園での介護は、入居者の方が自分で出来ることは、1年でも2年でも今の状態を維持できるように、見守り声かけでの対応を行ってまいります。 そのためには入居者一人ひとりの心身の状態をよく観察して行きます。</p>					
4 施設の特徴					
<p>萬寿園は、設立34年目を迎え、和やかに穏やかな生活を楽しめる安らぎの里として、お世話するのではなくお世話させていただく心を大切に、安心して生活していただける「生活の場づくり」を心がけて運営を行ってまいりました。 また裏庭にはお地蔵様もあり、毎日お参りの方もいらっしゃいます。 自然に囲まれ、四季折々の花が咲き、春にはみんなでお花見も楽しめ、園内は季節感でいっぱい充実したスタッフとともに、明るいホームづくりを心がけています。</p>					
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ					
<p>四季折々の行事、音楽療法、カラオケ、民謡教室、習字教室、お茶会、映画会等 明るく豊かな生きがいのある生活を楽しんでいただけます様、職員、ボランティアと一緒に支援いたします。</p>					
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)					
<p>ご利用者様と神出小学校音楽会への参加やご利用者様による地域の文化祭への出品、見学を実施させていただいております。また、災害時、神戸市福祉避難場所として登録、役割を果たせるよう発電機、石油ストーブの確保等防災対策に努めております。</p>					
7 居室形態					
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型 <input type="checkbox"/> 個室ユニット型				
●料金	<table border="1"> <tr> <td>居住費</td> <td>320円</td> <td>食費</td> <td>1380円</td> </tr> </table>	居住費	320円	食費	1380円
居住費	320円	食費	1380円		
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)					
<p>家族会開催(4か月毎)や行事(クリスマス会、納涼祭)への参加を呼びかけ、ホールにて一緒に楽しませておられます。また、ケース会議等にも参加され、家族の意向の把握と確認、満足の向上への活用に取り組んでおります。</p>					

■サービス提供体制

入所条件
<p>地域の方、緊急度の高い方(介護度・認知度) 人工透析など医療行為が状態的に必要な方や、感染症の方は受け入れ困難</p>
施設内自由度
<p>全館バリアフリーで、車椅子で自由に異動可。 面会時においても、談話室等 ご利用いただけます。</p>
居室の環境
<p>2人部屋:6室 4人部屋:22室 ご利用者を第一に考えた平屋建てで、全居室南向きで庭に面し、静かで広く、明るい構造になっています。 整理ダンス・ベッド・床頭台・ナースコールは常備</p>
外出などの自由
<p>初詣、お花見、買い物、文化祭、梨狩り、芋ほり、食事等、外出の機会をもうけケアワーカーと楽しい時間を過ごさせていただきます。 また、希望時に随時担当者により 送迎、付き添いを行っております。</p>
身体拘束・虐待防止対策
<p>身体拘束・虐待防止対策委員会、事故防止検討委員会毎月1度以上検討会を行う。原則行わないが、緊急やむを得ない場合のみ、ご家族の承諾のもと実施し、方法と期間を検討します。また、虐待防止責任者・虐待防止担当者を辞令を発令、組織的にも防止に取り組んでおります。</p>
食事
<p>朝食:8:00-8:30 昼職:11:45-12:15 夕食:17:45-18:45 管理栄養士を中心に、お一人おひとりに最適な栄養マネジメントを行い、その方の状況に合わせた食事形態で、栄養管理を行っております。 また、自立支援のため、離床して食事をとっていただくことを原則といたします。季節の行事に合わせたメニューを検討、季節ごとの 食べる喜びを、感じていただいております。</p>
入浴
<p>ご利用者の状態により、週2回 機械浴あるいは一般浴(個浴)に入浴介助させていただきます。 健康状態(血圧高め・熱発など)によっては、清拭介助をさせていただきます保清に努めています。</p>
排泄ケア
<p>定時のおしめ交換に加え、自立支援の取組みで、全館にウォシュレット設置し、トイレ誘導に力を入れています。アセスメントを行い、個人に合った排泄方法の見直しを、随時行います。</p>
医療体制
<p>●協力病院 ・甲斐診療所 ・偕生病院 ・新生病院 ・大黒歯科医院 ●看護体制 入所者の重度化に備え、9名(常勤換算)の看護職員で、夜勤看護師配置による24時間看護体制も確立、嘱託医との連携により、安心感を強化しております。 ●口腔機能維持管理体制 平成24年度より毎週、歯科衛生士による口腔ケアを実施してまいりました。研修等介護職員にも定着しており、誤嚥性肺炎等による入院も減少しています。年2回の歯科医師による歯科検診を行いながら、継続してまいります。 ●精神科医師定期的療養指導体制 平成24年度より、月2回 精神科の医師に来ていただき入所者の方の療養指導を行っております。精神科協力病院と今後も連携を取りながら、入所者へのニーズに応えていきたいと思っております。</p>
ターミナルケアの実施
<p><input type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない</p>
認知症ケア
<p>当施設は、平屋建てでバリアフリーであり、見守りの職員を配置し、なるべく自由に過ごしていただける様 認知症の方と区分けなく対応しております。認知症ケアの研修、音楽療法等、積極的に取り入れております。</p>
アクティビティ
<p>娯楽レクリエーションについて ・第1月曜 音楽療法・水曜日 民謡教室 ・第2火曜 習字教室・水曜日 お茶会 ・第3日曜 音楽療法 ・第4水曜 ティールーム(喫茶) 慰問(月2~3回) ・はなこま座(民芸慰問)1月(第2土曜日) ・音楽療法慰問 2月・5月・8月・11月(第1日曜日) ・富士園芸同士の会 2月・5月・8月・11月(第3土曜) ・よさこい(恋)灯 3月・6月・9月・12月(第2土曜) ・風さやか様 公演 4月・7月・11月(第2土曜) ・海峡連(阿波踊り) 6月・10月 ・オカリナ慰問(そよ風) 3月・7月・11月 ・カラオケ慰問(ソレイユ) 3月・6月・9月・12月(第3水曜) 他随時受け入れ。 買物 ・月2回(第1・3水曜日)、職員が注文を聞いてコープ志染へ買物(第1水曜日は、希望される方をコープへお連れします。コープでボランティアの方が買物のお手伝いをしてくれます)。 ・毎週水曜日、果物を希望の方は注文配達で購入。 ・衣類等も必要に応じて、ご家族様からの依頼があれば施設で個人購入。</p>

特別養護老人ホーム 萬寿園

総合評価

- ◎ 設立35年という施設としては、平屋建て、全室南向きで、各部屋が庭に面しているため、どの部屋も明るく、清潔さが保たれている。掃除は、障害者や拘置所の社会復帰施策として人を雇用し、施設内は掃除が行き届いている。
- ◎ 人事体制プランとしては、人材確保はどこも困難ではあるが、当施設では男性職員が多く、60歳までは正規雇用、65歳まではパート雇用、それ以降は嘱託として働く人もいる。介護士や見守りの人は、年配者が多い。医務室には常勤9名の看護師・准看護師が待機し、夜間も夜勤看護師1名を配置する等、利用者が夜間も安心して暮らせるシステムになっている。職員の資格向上を目指し、法人内での研修に力を入れ、キャリアパス制度も配慮されていて、職員の働く意欲を上げる工夫がされている。
- ◎ 利用者の聞き取りでは、1人は入所して10年、他の一人はまだ数ヶ月という方達であったが遠慮なく過せること、食べ物のことを皆が心配してくれるのが有難い、お風呂も週2回入れてもらえて嬉しいとのこと、2人も少し認知症ではあるが、安心して過ごされている様子である。職員聞き取りでは、1年半の女性と、20年のベテラン男性職員さんから話を聞いた。若い女性職員は分からないことはその場で聞いて教えて貰う。研修もたくさん受けている、とのこと。男性職員はもう50前なので、いつまで働けるかは少し不安とのことだった。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 法人内研修が年12回、月の前半と後半に各1回実施されているので、全職員が研修を受ける機会がある。
- ◎ 施設内が4つのゾーンに分かれ、職員が仕事をしやすく、利用者との関わりがきめ細かで安心できるシステムになっている。パソコン導入で、全職種の職員が情報共有出来るようになっている。
- ◎ 食事も介護度によって別の場所で取るシステムになっているので、軽度の利用者は自由に食事を取り、重度の利用者は一人ずつ丁寧にケアされている。にぎり寿司が、6月～10月までは食中毒に注意しているので出さないが、11月以降提供して食生活に変化を持たせている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 住宅地が周りにないということもあるが、地域との交流が少ない。公民館を借りて研修など実施しているので、その機会に地域住民に呼びかけて参加してもらうような取り組みが必要ではないか。
- ◎ ボランティアもクラブ活動などで入って貰っているが、話し相手など、地域の人にボランティアとして関わって貰えば、地域との交流になるのではないか。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 萬寿園

記入者 施設長

当施設の見解

設立35年を迎え、措置制度から介護保険制度へと変わり、幾度の改正のなか当施設を客観的に評価していただき、良いところと改善課題を明確にし、共通課題を検討、今後ご利用者目線に立ちマンネリを打開し、最低基準の遵守は当然のこと、サービスの質及び経営の透明性確保が一層必要であると考え、今回の受審にいたしました。ご利用者ご家族の皆様にはアンケートでの貴重なご意見を頂き有難うございました。なお、結果につきましては、ホームページ、萬寿の里でも公開していく予定でございます。

全体の所見といたしましては、全室南向きでバリアフリー、清掃及び重度化対応として夜勤看護含む職員配置体制、研修体制、法人内パソコンシステムでの情報共有等におきましては、高い評価をいただきました。また、課題点としては地域交流が少ないことがあります。地域柄、難しい部分がございますが、クラブ活動等への積極的働きかけを行っていきたいと思います。

ご家族アンケート個別コメントの改善点につきましては、今後の課題とし可能な限り、対応してまいりたいと考えております。

今後、職員が行うサービス提供の在り方についての課題認識をする良い機会と前向きに捉え、会議を通し周知し、段階を経て職員全体を巻き込んで、質の向上につなげてまいりたいと思いますので、今後共、宜しく願い申し上げます。